

学校給食(提供食)の放射性物質検査の結果について

検査方法

- ・ 学校給食で実際に児童生徒に提供した給食1食分を1週間ごとまとめて測定する。
- ・ 検体は毎日、小学校A1・中学校Aから採取を基本とする。

検査結果

<小学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和8年9月1日～9月4日 (4日分)	2.40	9月4日	不検出 (<0.63)	不検出 (<0.63)

小学校A1 献立名

9月1日	市産小麦食パン 牛乳	野菜スープ、コロッケ、ラタトゥイユ
9月2日	ごはん 牛乳	とりごぼう汁、あじフライソースかけ、すき昆布の煮物、なし
9月3日	ごはん 牛乳	なすのみそ汁、いわししょうが煮、肉じゃが
9月4日	ごはん 牛乳	庄内ふのみそ汁、ハンバーグ照焼きソース、キャベツとわかめのごま酢あえ

<中学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和8年9月1日～9月4日 (4日分)	2.70	9月4日	不検出 (<0.63)	不検出 (<0.61)

中学校A 献立名

9月1日	ごはん 牛乳	庄内ふのみそ汁、かつおフライソースかけ、オクラ入りおひたし
9月2日	ごはん 牛乳	きのこわかめのスープ、ほうれん草オムレツ、夏野菜のドライカレー
9月3日	ごはん 牛乳	とりごぼう汁、さばみそ煮、キャベツとわかめのごま酢あえ、なし
9月4日	市産小麦コッペパン 牛乳	野菜スープ、コロッケ、ラタトゥイユ

- 1 検査結果の()内は検出下限値です。
- 2 「不検出」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示します。
- 3 「検出下限値」とは、検査機器で測定できる最小の値のことです。
なお、検出下限は検体の種類や重量などの影響をうけるため、測定ごとに異なります。
- 4 検査を依頼している機関は山形県理化学分析センターです。
- 5 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法です。
- 6 食材内容については、「学校給食用食材の産地情報」で公開しています。

【参考】厚生労働省:24年4月からの放射性物質の新基準値 (単位 Bq/kg)

放射性セシウム	一般食品	100
	飲料水	10
	牛乳	50
	乳児用食品	50